

【件名】	路面補修工事（5一の13）及び六本木通りシンボルロード整備工事（5一-1）並びに自転車通行空間整備工事（5一-5）	【事務所名】	第一建設事務所	
【工事場所】	東京都港区赤坂一丁目地内	【受注者名】	辰島建設株式会社	
【工期】	令和6年3月18日から令和7年3月14日まで	【主たる技術者名】	伊藤 孝雄	

【工事概要】

施工延長 280.5m

- 路面補修工事〔車道〕
舗装打換え（低騒音アスファルト舗装ほか） 2,917㎡
- 道路修景工事〔歩道〕
自然石・透水性ブロック舗装 889㎡
横断抑止柵 194m
街築工（街きよほか） 220m

【表彰理由】（※発注者側評価）

- ・本工事は都心部で通過交通が多く首都高直下の厳しい施工環境であったが、現場の管理運営、施工管理に必要な知識と経験を発揮し、工期内に工事を完了させた。
- ・現場状況の変化にも、施工手順の工夫や迅速な人員・資機材手配より作業時間の短縮を図るなど、様々な工夫により効率的に作業が進められた。
- ・HTTゼロエミッションアドバンスやICT活用など、都が推進する低炭素化およびHTT、公共工事の品質確保に積極的に取り組んだ。



施工前



施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点

- ・一晩で舗装取壊しから敷設までを行うが、車道の既存舗装が平均43cmと厚く舗装の切断作業や取壊し作業を複数回行わなければならなかったため、施工管理や工程管理に苦慮した
- ・埋設管が輻輳しており、全ての防護柵基礎の設置位置を試掘しなければならなかった。

◇ 特に工夫した点

- ・既存舗装厚が想定よりも厚く、圧砕機での舗装版取壊しは周辺地域への騒音や工事期間延伸が懸念されたが、使用機械を切削機に見直すなどの工夫をした。
- ・交通量が多い交差点部であったため、手製の櫓（やぐら）にカラーコーンを設置することで安定性がよく視認し易くしたほか、すりつけを長めに設置するなど安全対策には特に気配りした。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

車道打換えの既存舗装厚は施工段階で変更になることも多いが、地元住民への事前調整や自社の人員体制強化により交通管理者協議の作業時間内で作業を完了することができた。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

沿道の住民や歩行者より「きれいになりましたね」の一言が最大の魅力です。



保安対策の工夫